

## 平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	天王寺区
学 校 名	大江小学校
学校長名	三木 健史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

#### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

### 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大江小学校では、第6学年 54名

## 平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

### 【国語】

- 高得点寄りの分布。二極化傾向が見られる。
- 平均無解答率は、全国平均・大阪市平均より高い結果となった。
- 平均正答率は「書くこと」「言語」領域で全国平均を上回り、「話すこと・聞くこと」「読むこと」領域で全国平均を下回った。

### 【算数】

- 高得点寄りの分布。
- 平均正答率は、全ての領域で市・府・全国平均を上回った。
- 平均無解答率は全国平均並み。市平均より若干高い。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 【国語】

- 国語の平均正答率は、市・府平均を上回ったが、全国平均を若干下回る結果となった。
- 「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。問われている内容に対して、適切な受け答えをする問題において、全国・府・市の平均を下回る結果となった。
- 「書くこと」は、昨年度まで課題となっていたが、取り組みの積み重ねにより、全国・府・市の平均を上回る結果となった。
- 児童質問紙の読書時間に関する質問において、1日に30分以上読書をする児童の割合は昨年度39.7%から今年度48.0%と改善することができた。また、「読書を全くしない」と答えた児童の割合も、昨年度11.1%から今年度4.0%と改善することができた。

### 【算数】

- 算数は、市・府・全国平均を上回る結果となった。
- 平均無解答率は、昨年度は0.9%（算数A）～4.3%（算数B）と市・府・全国平均を大きく下回っていたが（△1.1～3.6P）、今年度は全国平均並みで、市平均より下回る結果となった。
- 全体的に、特に大きな課題は見られないが、「数と計算」の領域で、加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに十分に理解できていないことがわかった。
- 児童質問紙の「算数の勉強は好きですか」で「(どちらかといえば)当てはまる」と答えた児童は全体の70.0%であった。（府68.3%、全国68.6%）その一方で、「算数の勉強は大切だと思う」では「(どちらかといえば)当てはまる」と答えた児童は全体の92.0%となり、府93.0%、全国93.7%をわずかに下回る結果となった。また、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」では「(どちらかといえば)当てはまる」と答えた児童は全体の92.0%となり、府91.6%、全国92.5%とこちらもわずかに下回る結果となった。児童には、算数のよさや有用性を実感できるように指導していく必要がある。

質問紙調査より

### 【基本的生活習慣】

- 「朝食を毎日食べてきている」児童の割合は、昨年度に比べ改善された(87.5%⇒94.0%)。
- 「毎日同じ時刻に寝る」児童の割合は全体の86.0%、「同じ時間に起きる児童」の割合は全体の76.0%で、全国平均を下回っており改善の余地が見られる。

### 【自尊感情・規範意識】

○「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童の割合が、全体の約9割となっている一方で、「自分にはよいところがある」と思える児童の割合が74.0%と低い。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「学校に行くのは楽しいと思える」児童が全国平均に比べて低い。教職員が子どもたちのよさを認め、一人一人の自尊感情を高めていくことが必要である。

### 【学びの充実に向けて】

○5年生までに、「課題解決に向けて主体的に取り組む活動」「話し合いや発表を伴う活動」を取り入れた授業を受けることができたと思感している児童の割合が減少している。

○「国語の勉強は好き」「国語の授業内容はよく分かる」「算数の勉強は好き」「算数の授業の内容はよく分かる」については、比較的高い割合の結果を示している一方で、「国語の勉強は大切」「算数の勉強は大切」「算数の授業で新しい問題に出合ったとき解いてみたいと思う」については全国平均に比べ低い値を示している。

○「読書を全くしない」児童の割合は、大阪府平均、全国平均に比べて非常に低く、本校では昨年度よりさらに改善された。また、「30分以上読書している」児童の割合は、大阪府平均、全国平均を大きく上回っており、ほとんどの児童が読書に親しんでいる。

### 【家庭学習】

○全国平均に比べて若干低いものの、家で計画を立てて勉強をする児童は、年々増えてきている。

○「1日当たりの学習時間が2時間以上」の児童は全体の44.0%を占め、全国平均と比べて高い割合となった。その一方で、「全くしない」「30分より少ない」と答えた児童は全体の10.0%で、その割合は全国平均と同程度となり、昨年度より改善が見られた。

### 【学校・家庭・地域の連携】

○「地域行事への参加」は50.0%と、十分とはいえない状況がある。

○「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答えた児童は44.0%であった。

○今後もPTA、地域各種団体とともに地域連携を進め、地域に根ざした児童の育成に努める。

## 今後の取組(アクションプラン)

○平均正答率の高さに比べて平均無解答率が高いこと、児童の国語の得点分布で高得点域と低得点域で二極化が見られたことから、国語と算数の基礎的・基本的事項の定着を確実にを行い、児童全体の学力の底上げを実施する必要がある。

○朝食を毎日食べることや決まった時間に寝起きすることなどについては、一昨年度から昨年度にかけては改善されていたこともあるため、今後も、基本的生活習慣を確立することの大切さについては、学校だより、保健だより等の配付物等による保護者への啓発や、児童への保健指導等を積極的にすすめていく。

○学校のきまりを守り、いじめを許さない強い気持ちを備えていることは、大江小学校においては、ここ数年間の結果を見ても、非常に高い結果が得られており、児童一人一人の規範意識はたいへん高い。今後も学習活動全般を通じて、児童の自尊感情を高め、自分に自信をもち、心を豊かにする指導を継続的に行う。

○理解度や意欲の度合いに比べ低かった、国語や算数のよさや、学習の有用性などに気づかせるよう、指導の工夫を行う。

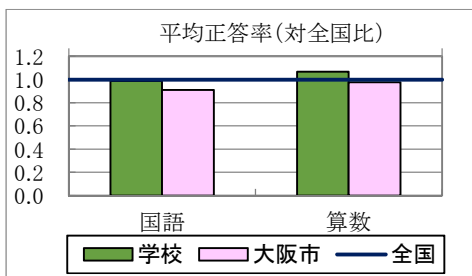
○読書を進める取り組みが良好な結果をもたらしていることから、今後も継続的な取り組みとして、PTA、学校図書館補助員の方々と連携して、児童の読書環境の一層の充実を図り、本に親しみ、読書を楽しめる児童を育てていく。

○児童の一層の学力向上を図るためにも、家庭での学習習慣の確立をすすめる。今後も、具体的な方法や内容を児童に指導し、自主的な学習習慣を育てていく。

## 【 全体の概要 】

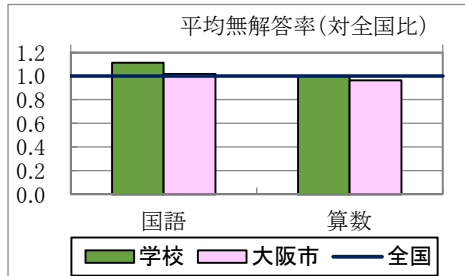
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	63	71
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6



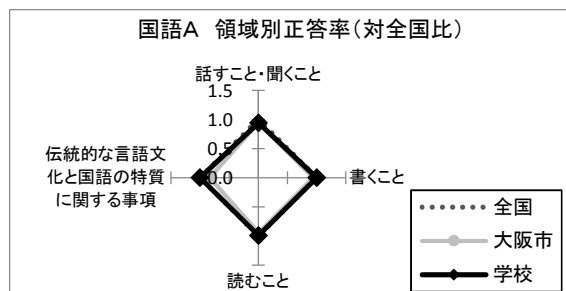
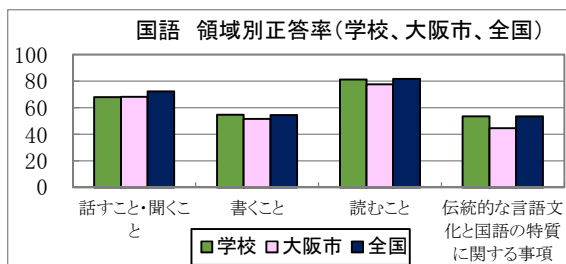
### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	6.9	2.7
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7



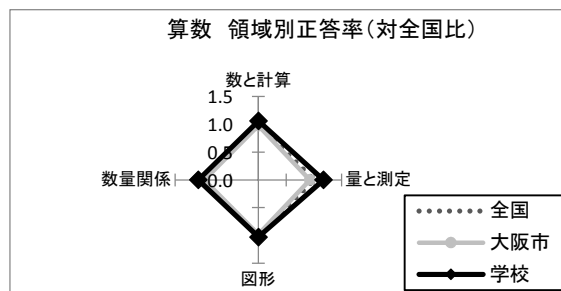
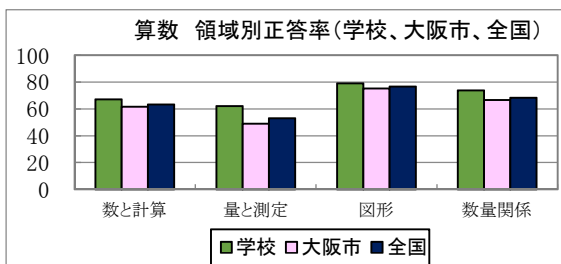
## 【 国 語 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	3	68.0	68.3	72.3
	書くこと	3	54.7	51.5	54.5
	読むこと	3	81.3	77.7	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	53.6	44.6	53.5



## 【 算 数 】

		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	数と計算	7	67.1	61.7	63.2
	量と測定	3	62.0	49.0	52.9
	図形	2	79.0	75.3	76.7
	数量関係	7	73.7	66.7	68.3



# 児童質問紙より

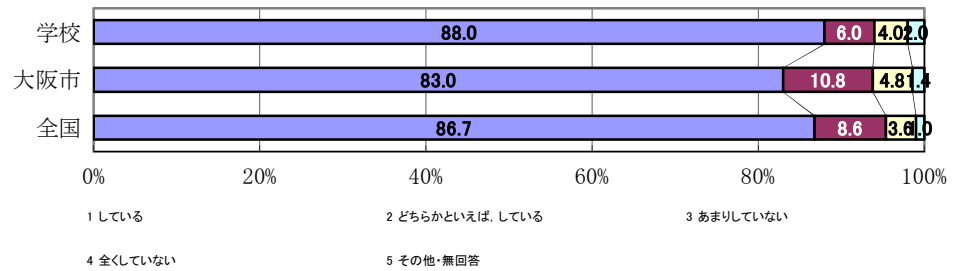
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

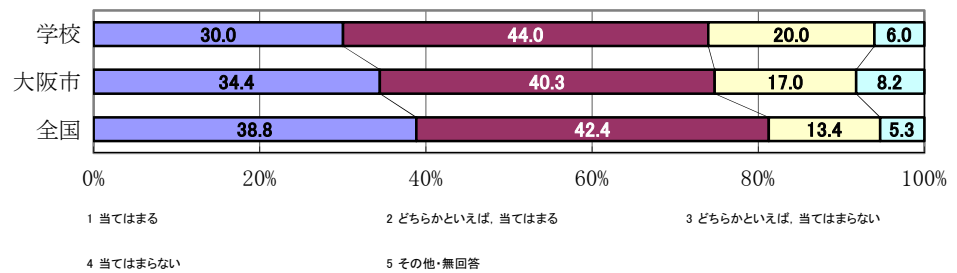
1

朝食を毎日食べていますか



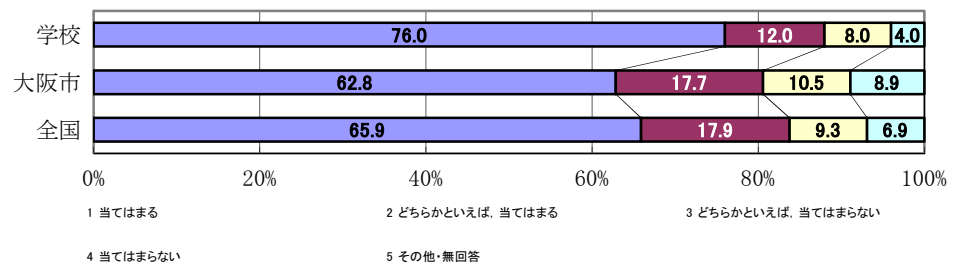
5

自分には、よいところがある  
と思いますか



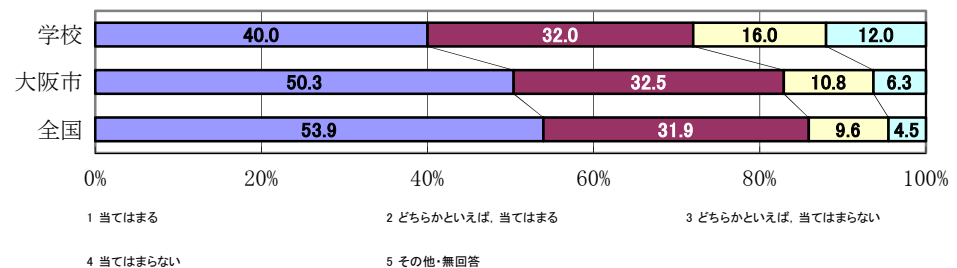
8

将来の夢や目標を持っていますか



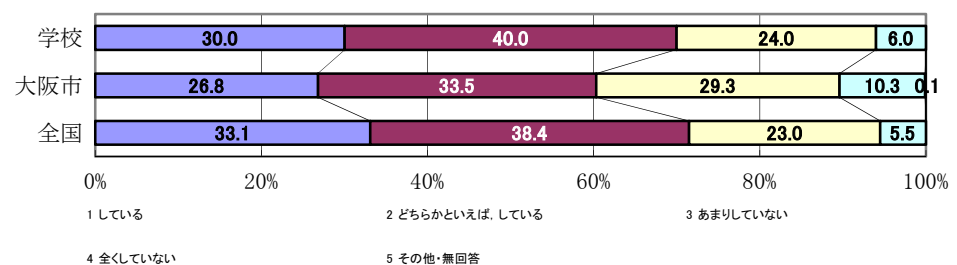
12

学校に行くのは楽しいと思  
いますか



17

家で自分で計画を立てて  
勉強をしていますか



# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

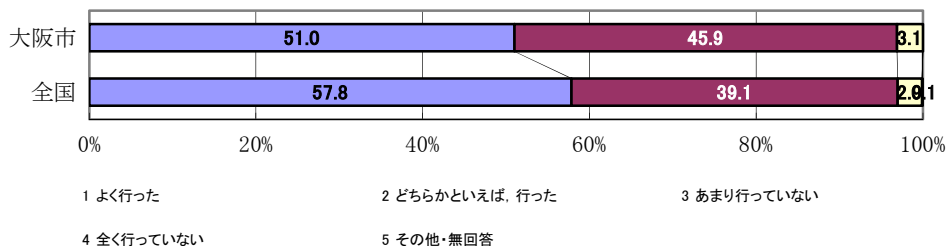
質問番号

質問事項

13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

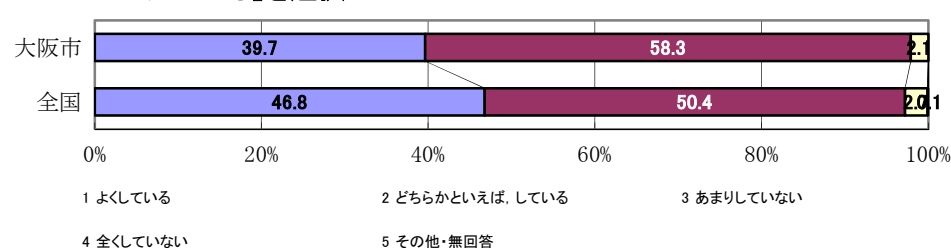
学校 「よく行った」を選択



19

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

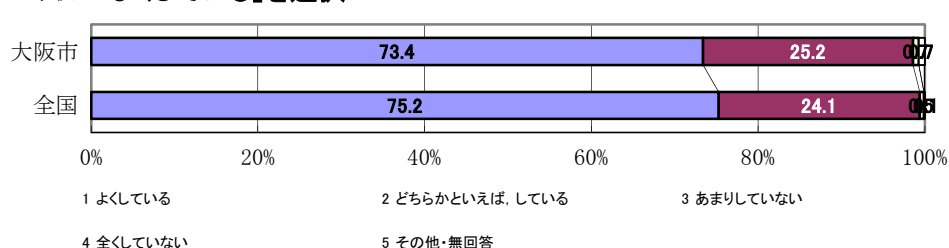
学校 「よくしている」を選択



24

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

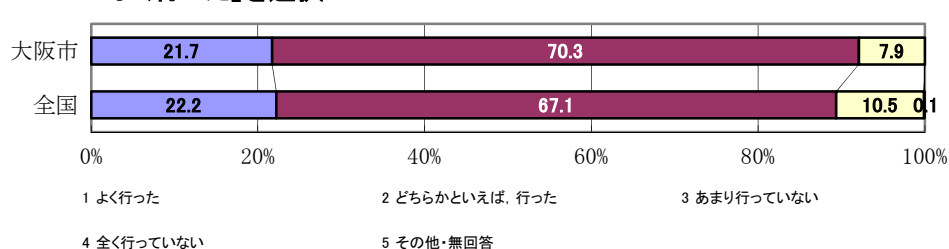
学校 「よくしている」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

学校 「よく行った」を選択



42

調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

